



2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年7月29日

上場会社名 明和産業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 8103 URL <https://www.meiwa.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉田 毅
 問合せ先責任者 (役職名) 主計財務部長 (氏名) 小林 敏弘 (TEL) 03-3240-9534
 四半期報告書提出予定日 2022年8月5日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	40,373	18.1	962	24.8	1,089	8.4	653	△7.0
2022年3月期第1四半期	34,200	13.1	771	45.8	1,004	217.5	702	320.9

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 1,988百万円(196.7%) 2022年3月期第1四半期 670百万円(39.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	15.65	—
2022年3月期第1四半期	16.83	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	82,871	35,097	41.8
2022年3月期	76,415	35,967	46.7

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 34,645百万円 2022年3月期 35,680百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	47.00	—	72.00	119.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	0.00	—	25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	160,000	11.9	2,500	△26.5	3,000	△12.0	2,100	△12.8	50.28

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期1Q	41,780,000株	2022年3月期	41,780,000株
② 期末自己株式数	2023年3月期1Q	16,869株	2022年3月期	16,869株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期1Q	41,763,131株	2022年3月期1Q	41,763,227株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報を前提としているものであり、実際の業績は今後の様々な要因により大きく異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間は、欧州において景気は回復傾向にあり、米国及び中国において景気は減速傾向となりました。我が国においても、景気は減速傾向となりました。依然として、新型コロナウイルス感染症の蔓延やウクライナ情勢に端を発する経済への影響が継続しており先行き不透明な状態が続いております。

このような状況のもと、当第1四半期連結累計期間の売上高は403億7千3百万円と前年同期の18.1%にあたる61億7千3百万円の増収、営業利益は9億6千2百万円と前年同期の24.8%にあたる1億9千1百万円の増益、経常利益については、10億8千9百万円と前年同期の8.4%にあたる8千4百万円の増益となり、親会社株主に帰属する四半期純利益については6億5千3百万円と前年同期の7.0%にあたる4千8百万円の減益となりました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の1株当たり四半期純利益は15.65円となりました。

なお、主な要因は以下のとおりであります。

- ・売上高については、第一事業、第二事業、第三事業が好調に推移し、自動車・電池材料事業が前年同期並みとなったため増収となりました。
- ・営業利益については、売上高の増加による売上総利益が増加したことにより、販売費及び一般管理費の増加があったものの増益となりました。
- ・経常利益については、営業利益の増加、投資先からの受取配当金の増加等により、持分法による投資損失が発生したものの増益となりました。
- ・法人税等については、円安の影響で海外子会社の留保利益の円換算額が増加したため、未分配の配当により生じる税金費用見積りが増加したこと等により、増加しました。
- ・親会社株主に帰属する四半期純利益については、上記要因の結果、減益となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

なお、当第1四半期連結会計期間より、当社グループの第一事業及び第三事業の組織再編を行いました。第一事業は樹脂・難燃剤事業部の樹脂事業を第三事業に移管して難燃剤事業部に改称し、機能建材事業部を第三事業から編入致しました。第三事業は高機能素材事業部を三分割し、それぞれ高機能素材事業部、機能化学品事業部、第一事業から編入した樹脂事業と統合して合成樹脂事業部と致しました。

また、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。

セグメントごとの事業内容及び主な取扱商品は次のとおりであります。

セグメントの名称	事業内容	主な取扱商品
第一事業	資源・環境ビジネス事業 難燃剤事業 機能建材事業	レアアース・レアメタル、環境関連、金属関連 難燃剤 断熱材、防水材、内装材
第二事業	石油製品事業	潤滑油、ベースオイル、添加剤
第三事業	高機能素材事業 機能化学品事業 合成樹脂事業	フィルム製品、印刷原材料 製紙薬剤、粘接着剤 合成樹脂原料、合成樹脂製品
自動車・電池材料事業	自動車事業 電池材料事業	自動車部品関連 電池材料

① 第一事業

売上高は、94億5千7百万円と前年同期の14.1%にあたる11億6千9百万円の増収、セグメント利益につきましては、3億3千9百万円と前年同期の94.3%にあたる1億6千4百万円の増益になりました。

これは主に各取引が以下の通り推移した結果によるものです。

- ・資源・環境ビジネス事業は、資源関連、環境関連、金属関連ともに好調に推移しました。
- ・難燃剤事業は、需要が伸長し、好調に推移しました。
- ・機能建材事業は、断熱材や防水材は需要が持ち直し、好調に推移したものの、内装材は前年同期並みに推移しました。

② 第二事業

売上高は、151億8千8百万円と前年同期の24.1%にあたる29億4千6百万円の増収、セグメント利益につきましては、6億1千万円と前年同期の10.3%にあたる5千7百万円の増益になりました。

これは主に各取引が以下の通り推移した結果によるものです。

- ・国内向けベースオイル・添加剤及び中国向けベースオイル・添加剤は需要が伸長し、好調に推移しました。
- ・中国潤滑油事業は、冷凍機油は前年同期並みに推移したものの、建機純正オイルは低調に推移しました。

③ 第三事業

売上高は、139億3千9百万円と前年同期の17.2%にあたる20億4千1百万円の増収、セグメント利益につきましては、2億5千3百万円と前年同期の7.1%にあたる1千6百万円の増益になりました。

これは主に各取引が以下の通り推移した結果によるものです。

- ・高機能素材事業は、フィルム製品は好調に推移したものの、印刷原材料は前年同期並みに推移しました。
- ・機能化学品事業は、粘接着剤は好調に推移したものの、製紙薬剤は前年同期並みに推移しました。
- ・合成樹脂事業は、合成樹脂原料、合成樹脂製品ともに前年同期並みに推移しました。

④ 自動車・電池材料事業

売上高は、13億5千9百万円と前年同期の1.0%にあたる1千3百万円の減収、セグメント損失が、1億6千4百万円と前年同期から1億9千9百万円の減益（前年同期は3千4百万円の利益）になりました。

これは主に以下の通り推移した結果によるものです。

- ・自動車事業は、持分法適用会社において損失を計上したことにより、減益となりました。
- ・電池材料事業は、自動車用などの電池材料販売は低調に推移しました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、828億7千1百万円と前連結会計年度末の8.4%にあたる64億5千6百万円の増加となりました。負債は、477億7千4百万円と前連結会計年度末の18.1%にあたる73億2千6百万円の増加となり、また、純資産は350億9千7百万円と前連結会計年度末の2.4%にあたる8億7千万円の減少となりました。

この結果、自己資本比率は41.8%となりました。

なお、主な要因は以下のとおりであります。

- ・総資産については、業績が好調に推移したことにより、主に売上債権が前連結会計年度末の12.1%にあたる54億2千3百万円の増加となったことによるものであります。
- ・負債については、主に仕入債務と短期借入金の増加により、流動負債が前連結会計年度末の19.8%にあたる70億9千8百万円の増加となったことによるものであります。
- ・純資産については、主に剰余金の配当を行ったことにより、利益剰余金が前連結会計年度末の9.9%にあたる23億5千3百万円の減少となったことによるものであります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,255	6,856
受取手形、売掛金及び契約資産	44,995	50,419
商品	7,814	6,560
その他	1,388	1,011
貸倒引当金	△229	△227
流動資産合計	59,225	64,619
固定資産		
有形固定資産	1,168	1,190
無形固定資産	208	190
投資その他の資産		
投資有価証券	14,800	15,725
その他	1,036	1,169
貸倒引当金	△23	△23
投資その他の資産合計	15,813	16,871
固定資産合計	17,190	18,252
資産合計	76,415	82,871
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	28,197	30,648
短期借入金	5,787	9,553
1年内返済予定の長期借入金	—	500
未払法人税等	485	273
賞与引当金	681	430
その他	698	1,543
流動負債合計	35,850	42,949
固定負債		
長期借入金	590	202
役員退職慰労引当金	—	307
退職給付に係る負債	901	893
その他	3,106	3,421
固定負債合計	4,597	4,825
負債合計	40,448	47,774

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,024	4,024
資本剰余金	2,761	2,761
利益剰余金	23,655	21,302
自己株式	△4	△4
株主資本合計	30,437	28,084
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,642	3,922
繰延ヘッジ損益	17	12
為替換算調整勘定	1,770	2,800
退職給付に係る調整累計額	△186	△173
その他の包括利益累計額合計	5,242	6,560
非支配株主持分	287	452
純資産合計	35,967	35,097
負債純資産合計	76,415	82,871

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)
売上高	34,200	40,373
売上原価	31,607	37,476
売上総利益	2,593	2,897
販売費及び一般管理費	1,822	1,934
営業利益	771	962
営業外収益		
受取配当金	176	181
持分法による投資利益	67	—
その他	15	43
営業外収益合計	259	224
営業外費用		
支払利息	15	24
持分法による投資損失	—	62
その他	10	11
営業外費用合計	26	98
経常利益	1,004	1,089
特別利益		
負ののれん発生益	—	25
その他	—	2
特別利益合計	—	27
特別損失		
固定資産除却損	0	0
特別損失合計	0	0
税金等調整前四半期純利益	1,004	1,115
法人税、住民税及び事業税	171	246
法人税等調整額	124	196
法人税等合計	295	443
四半期純利益	709	672
非支配株主に帰属する四半期純利益	6	18
親会社株主に帰属する四半期純利益	702	653

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益	709	672
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△167	309
繰延ヘッジ損益	1	△4
為替換算調整勘定	106	528
退職給付に係る調整額	20	15
持分法適用会社に対する持分相当額	0	466
その他の包括利益合計	△38	1,315
四半期包括利益	670	1,988
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	665	1,971
非支配株主に係る四半期包括利益	4	16

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	第一事業	第二事業	第三事業	自動車・ 電池材料事業	計		
売上高							
日本	7,520	860	11,083	438	19,902	399	20,301
中国	189	10,890	387	892	12,359	—	12,359
その他	578	491	427	41	1,538	—	1,538
顧客との契約から生じる収益	8,288	12,242	11,897	1,372	33,801	399	34,200
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	8,288	12,242	11,897	1,372	33,801	399	34,200
セグメント間の内部 売上高又は振替高	10	18	2	—	32	0	32
計	8,298	12,261	11,900	1,372	33,833	399	34,233
セグメント利益 又は損失(△)	174	553	236	34	999	5	1,005

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益又は損失	金額
報告セグメント計	999
「その他」の区分の利益又は損失(△)	5
セグメント間取引消去	△19
全社費用(注)	18
四半期連結損益計算書の経常利益	1,004

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び営業外損益であります。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	第一事業	第二事業	第三事業	自動車・ 電池材料事業	計		
売上高							
日本	8,474	1,299	12,996	436	23,206	429	23,635
中国	297	13,193	411	867	14,770	—	14,770
その他	685	695	531	55	1,967	—	1,967
顧客との契約から生じる収益	9,457	15,188	13,939	1,359	39,944	429	40,373
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	9,457	15,188	13,939	1,359	39,944	429	40,373
セグメント間の内部 売上高又は振替高	11	28	4	—	44	0	44
計	9,469	15,216	13,943	1,359	39,988	429	40,418
セグメント利益 又は損失(△)	339	610	253	△164	1,039	△1	1,037

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益又は損失	金額
報告セグメント計	1,039
「その他」の区分の利益又は損失(△)	△1
セグメント間取引消去	△17
全社費用(注)	68
四半期連結損益計算書の経常利益	1,089

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び営業外損益であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、当社グループの第一事業及び第三事業の組織再編を行いました。第一事業は樹脂・難燃剤事業部の樹脂事業を第三事業に移管して難燃剤事業部に改称し、機能建材事業部を第三事業から編入致しました。第三事業は高機能素材事業部を三分割し、それぞれ高機能素材事業部、機能化学品事業部、第一事業から編入した樹脂事業と統合して合成樹脂事業部と致しました。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。

詳細につきましては、「1. 当四半期決算に関する定性的情報」をご参照ください。